

人口は4千人近く増加する。

この人口推計に基づいて、将来この圏域に必要な病床数を、ある一定の基準で機能別に推計したものが、今回公表されたもの。

今回の推計には全国統一的に人口問題研究所の数値を用いることが厚労省より求められている。

今後の将来推計については、これらの取組みによる人口の変化等も踏まえながら見直しが行われると考えている。

- 3 「特に北海道においては、あらゆる地域で在宅医療を推進することは現実的ではないことから」と書いてあります。これは、どういう意味で現実的でないと考えているのか。

〔事務局〕

西胆振も含め在宅医療の推進は全道的な課題。

医療資源の問題もあり、市町村の役割や受け皿となる住まいも含め、様々な形を考えざるをえない。

- 4 急性期は10年間に500床減。急性期の医療機関に強制的に減床を求めると病院として機能しない。

〔事務局〕

基本的には行政主導でなく、医療機関の自主的な取組みにより進めていただく。

ただし、今回の医療提供体制の改革は、地域包括システム構築と併行して時間をかけて進めていくものであり、直ちに急激な変化を求めるものでないと考えている。